



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 128

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 128. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1963, 128: 1-8

ISSUE DATE:

1963-05-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186909>

RIGHT:

京都大学瀬戸塩海実験所振興会

水族館月報

NO 128

1963. 4月 (5月5日)

録 事

4月1日 さきに退職した稲垣弘技術員の後任としては、技術員の新採用が難しいので、昨年4月採用の森山惣一事務見習を技術見習としてこれにあて、新たに谷坂美和子を事務見習として採用。なお前年6月退職の小芝満子事務員の後任として赤松里美を事務見習として採用。両名共本日より出勤。

4月8日 3月20日付にて契約をむすんだ、白浜急行バス株式会社の定期観光バスは、本日より運行を開始し、当館の入館も行なわれた。

4月25日 恒例の職員春の行楽は、今年は新和可漕方面へのピクニックと決定。1班は25日、2班は26日に実施した。両日とも行楽日和に恵まれて、楽しい一日を過ごした。

4月29日 平やすと事務員は大阪市役所職員組合白浜寮に就職のため、本月30日限りで退職を願出。本日午後5時30分より寄宿舎において送別の小宴を催す。

業 務 概 況

◎ 4月の入場者数

□ 水族館窓口発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
個 人	12096	429	1649	14174
団 体	22420	320	1351	24091
小 計	34516	749	3000	38265

○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
明 光 バス	60549	0	1400	61949
白浜急行バス	5319	0	21	5340
小 計	65868	0	1421	67289

○ 旅行斡旋業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
日本交通公社	2595	0	21	2616
近畿日本サウサ	1704	0	11	1715
日本 旅行会	160	0	0	160
南海 交通社	225	0	0	225
日本通運KK	120	0	0	120
小 計	4808	0	32	4836

合 計	105188	749	4453	110390
-----	--------	-----	------	--------

無 料	白浜才-小学校児童			120
-----	-----------	--	--	-----

◎ 4月の事業収入

観光券売上金	2,553,060
窓 口 発 売	1,010,982
明光バス観光券	1,422,061※
白 菜 急 行 バ ス 観 光 券	—
日本交通公社クーポン	67,943
近鉄日本ツーリストクーポン	44,754
日本旅行会クーポン	4,080
南海交通社クーポン	—
日本通運KKクーポン	3,240
給はがき売上金	45,660
予 金 利 子	720
手 数 料	45,990
パンフレット松下	—
研究業績松下	—
魚 類 松 下	900
雑 收 入	1,814
諸施設改善積立金より繰入	—
合 計	2,648,144

※ 明光バス観光券未収分 @30 36005枚 @27 26951枚
@10 1774枚 @ 9 388枚

◎ 4月の支出

本部経費

費 目	金 額	備 考
人 件 費	334,48	
旅 費	—	
会 議 費	—	
事 務 費	1,600	
福祉厚生費	23,910	
社会保険料	—	
積 立 金	—	
合 計	58,958	

水族館経費

箇 目	金 額	備 考
人 件 費	295,547	
旅 費	1,030	
草 葉 費	153,468	
営 繕 費	21,139	
公 課 及 保 険 料	30,238	
諸 経 費	117,154	
合 計	618,576	

実験所経費

費 目	金 額	備 考
旅 費		
研 究 費		
助 成 金	10,000	
刊 行 費		
役 務 費		
合 計	10,000	

支出合計

本部経費	58,958
水族館経費	618,576
実験所経費	10,000
臨時費	—
合 計	687,534

◎ 4月末現在高

前月よりの繰越	—
今月の収入合計	2,648,144
今月の支出合計	687,534
現 在 高	1,960,610

◎ 前年度との比較

	1963	1962	増 減
入 場 者 数	110,390	91,336	+ 19,054

水族館記事

- ◎ 2日 堺浦&リッノザノ(全長120cm)10体が入槽、H水槽で展示していたが26日に死亡。
- ◎ 2日 H水槽のハマチに寄生していた吸虫 *Benedenia sekiroae* は、コブダイにも感染したのでネグボンー硫酸銅浴を実施、6日駆除成功を確認した。この吸虫は、コブダイ、タカノハダイなどに寄生するコペポーダ *Caligus* sp. であり、薬品に対する抵抗力が強く、駆除に数日を要する。(*Caligus* は12時間でない)
- ◎ 5日 I水槽のガラス入れ替え作業完成、水槽の両口は左右20cmずつ狭くなったが、中央の立上がりになったため、以前よりずっと見やすくなった。
- ◎ 11日 H水槽のハマチ300体は、吸虫は駆除できたが、体表のすり傷が見苦しく、また、他の魚病を誘発するおそれもあるので、お下げ処分し、代りに近大養魚場より新しく400体を補充した。
- ◎ 14日 大阪エンゼル熱帯魚店より、コバルトシラスメノ50体が入槽。成年入ったものより大きく(全長5~6cm) 見応えがある。先月入槽のカクレマノミ、テッポウウオ、ヒメツバナウオなどと共に、何れも元気で、新館卓上水槽をにぎわしている。
- ◎ 20日 A水槽のミギマキ、B水槽の、イトウ、タイ、イシガキダイに、早くも白癩病が発生(水温18.5℃)し、ネグボンー硫酸銅浴で治療中、月末までのところまだ、本病による死亡魚はでない。
- ◎ 21日 11日入槽のハマチは養魚生簀の中ですでに吸虫が寄生していたらしく、その症状が現れ始めたので、前回同様に処置し、駆除できたが、白癩病の予防をかねて、以後5日ごとに薬液投入を続けている。
- ◎ 21日 元発電機室に1HP 低圧コンプレッサーを設置し、運転開始。これで、ホ1・2水槽室、熱帯淡水魚槽(標本展示室)へ給気ができるようになった。
- ◎ 24日 堺浦および瀬戸崎1本釣漁師よりトビエイ40体が入ったが、生簀内での損傷の悪化し、いずれも数日で死亡。
- ◎ チカエシガミの収容数は、月末現在、F水槽90体、R120体。循環冷水のにごりが多いため、夜間のみ冷水循環し、南館時間中は内式フィルターによる濾過だけを表示している。この向の水温上昇は1℃以下である。

② 4月の採集収果

日 時	採集場所	方 法	人 員	主な目的
11日午後	南浜防波堤附近	磯採集	1	ウミウシ類、トコブシ
12日 "	塔島へ 灯台下	"	2	トゲトサカ類
14日 "	動物園下の葎	"	2	ヒトデ類、ウミウシ類
20日午前	"	"	1	カメノテ、イソスジエビ
28日午後	南浜防波堤附近	"	1	ケヤリムシ
29日 "	塔島周辺	"	2	ウミウシ類、ウミシタ

③ 主な採集水族名 (※印は 37年4月1日以降始めての入槽動物)

無脊椎動物：オオトゲトサカ ケヤリムシ カメノテ イソスジエビ サラサエビ
ミヤコウミウシ クロシタナシウミウシ キヌハダウミウシ ※イバラウミ
ウシ ※ダイダイウミウシ ミスガイ トコブシ ※ベニシボリ サワラビ
※トゲクモヒトデ コシダカウニ サンショウウニ メナエコ ※ミカンボヤ

④ 主な購入水族名

無脊椎動物：オニヤドカリ ヒロバウチワエビ コブセミエビ ゾウリエビ
カノコイセエビ ケアシガニ エダツノガニ タカアシガニ エンコウガニ
トラフカラッコ ※オオナルトボラ
 魚 類：ナヌカザナ ホシガナ ※ツノザナ カスザナ トビエイ クロアサ
ゴ イトウタイ アカマツカサ ブリ オキナヒナジ マハタ イヤゴハ
ヲ コバルトソラスズナ イラ ササノハベラ シマフグ トラフグ
※モヨウフグ ニセフサカサゴ ※ハチ イシガレイ アコウ

⑤ 4月30日現在、飼育中の動物は、総計299種、3850 個体以上でその内訳は、次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は295種、3650 個体以上。

ヒドロ虫類	2種	フジツボカサテ類	4種	タコ類	1種
ウミトサカ類	2 "	エビ類	16 "	ウミシタ類	2 "
ヤギ類	7 "	ヤドカリ類	5 "	ヒトデ類	7 "
ウミエラ類	1 "	カニ類	23 "	クモヒトデ類	5 "
イリギンチャク類	9 "	アメフラシ類	15 "	ウニ類	10 "
イシサンゴ類	3 "	二枚貝類	9 "	ナマコ類	6 "
ハナギンチャク類	1 "	巻貝類	22 "	ホヤ類	6 "

多毛類 4種 ヒザラガイ類 1種 軟骨魚類 12種
 カブトガニ類 1種 イカ類 1種 硬骨魚類 121種
 カメ類 3種

資 料

③ 4月の気象(09時観測)
 水1水槽(水温・比重は6.24水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数:14	7	4	3
室 温 (°C)	$\frac{12.9 \sim 18.0}{15.2}$	$\frac{12.8 \sim 20.1}{17.1}$	$\frac{15.8 \sim 18.7}{17.4}$
水 温 (°C)	$\frac{14.22 \sim 17.42}{15.59}$	$\frac{14.44 \sim 19.00}{16.80}$	$\frac{17.02 \sim 18.00}{17.53}$
比 重 (°15)	$\frac{24.69 \sim 25.76}{25.08}$	$\frac{23.67 \sim 27.50}{24.57}$	$\frac{24.04 \sim 25.66}{24.68}$

新 飼 (水 温)

H 水 槽 (°C)	$\frac{14.6 \sim 16.2}{15.5}$	$\frac{15.2 \sim 19.2}{17.1}$	$\frac{16.9 \sim 17.7}{17.3}$
T ₈ 水 槽 (°C)	$\frac{14.6 \sim 17.2}{15.9}$	$\frac{14.8 \sim 19.6}{17.2}$	$\frac{17.4 \sim 18.0}{17.7}$

取 入 口

水 温 (°C)	$\frac{14.40 \sim 17.28}{15.81}$	$\frac{15.00 \sim 19.04}{17.03}$	$\frac{16.82 \sim 19.20}{17.86}$
比 重	$\frac{24.58 \sim 25.72}{25.12}$	$\frac{23.50 \sim 25.36}{24.51}$	$\frac{23.90 \sim 25.12}{24.72}$

来 訪 録

- 4月1日 北海道大学事務局経理部及川敬一主計課長 御佐・同 広田村三文部事務官は、
当館の経理等について視察研究のため来館。
4月16日 近畿日本ソーリストKK富田俊一経理部次長・同 津島茂手配課長は契約
更改のため来館。

昭和38年5月5日 (NO.128)

調査兼
発行着

宮 地 伝 三 郎

発行所

瀬戸臨海実験所振興会
和可山係 白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 515)